

奇跡の一本松の保存方法について

「奇跡の一本松」を、復興の象徴のモニュメントとして保存するため、2業者（団体）から提案を受けて整備方法の検討を進めてきましたが、このたび、次のとおり決定いたしました。

なお、今回は整備方針を決定したものであり、工事の内容等については、今後、提案を受けた業者との間で調整していくものです。

1 整備に当たっての基本条件

一本松の実物を、できるだけ現状に近い姿で、現在の場所に自立させる。

2 選択に当たっての考え方

加工処理、据え付け、メンテナンス費用や、処理後の松の姿などを総合的に比較検討した。

3 選択した整備方法

幹を5分割して芯をくり抜き、防腐処理を行った後、金属製の心棒を通して元の場所に設置する。

〔工事の概要〕 ※以下は提案内容であり、実際の工事内容は今後調整していくものです。

名 称	工 法
枝	枝葉の現物保存は困難なため、レプリカ（複製）とする。
幹	工場で芯の部分をくり抜いた後、外側と内側から防腐処理を行う。
根	据え付けに不要であるため、切除する。（保存については別途検討する。）
据付	金属製の心棒を入れて、現地で組み立てる。
避雷対策	枝の中に避雷針を設置する。
メンテナンス	年に1回程度、高所作業車で確認し、劣化損傷が発見された場合は工場で補強等を行う。

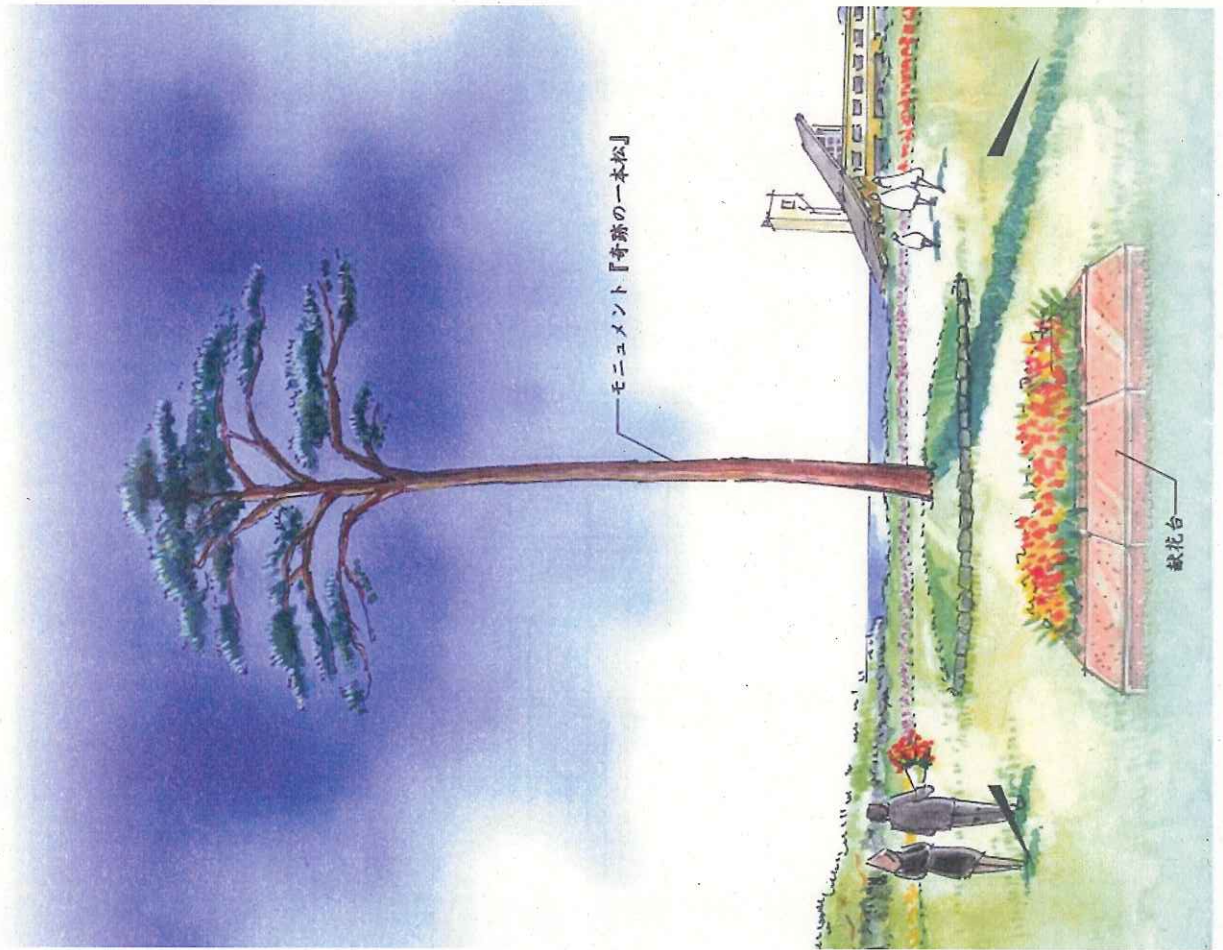
4 工期（見込み）

平成24年8月下旬～平成25年2月末

5 費用

約1億5千万円

イメージパース



設置の概念図 (断面図)

